**プログラミング教育 校内研修（１００分）の流れ**

＊事前準備　パワーポイント「校内研修（R2版）」

ファイル「初期設定（正多角形）.sb3」

１　「小学校プログラミング教育の概要1・2」視聴　**＜１９分＞**

（「小学校プログラミング教育の概要2」は、７’１４「～どのようなものがあるのでしょうか」まで視聴）

<http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/1416408.htm>

２　コンピュータでプログラミング体験１　**＜体験２９分＋説明２分＞**

Hour of Code 「古典的な迷路」（<https://studio.code.org/hoc/1>）

「校内研修（R2版）」とガイドビデオを見ながら進める。

　　　～２’２３「これで古典的な迷路が始まります」で、一時停止⇒机間指導

～５’５７「それではステージ５まで進めましょう」で、一時停止⇒机間指導

～９’３２「それでは始めましょう」で、一時停止⇒机間指導～１２’００⇒机間指導

※教え合い学習を教員も体験できるとよい。

体験後、スライド５～７で、プログラムの基本処理（順次・分岐・反復）について説明する。（ステージ６・１４がポイントになるので、それを想起させながら説明する。）

３　授業プラン１「私たちの生活とコンピュータについて考えよう」の展開方法

**＜５分＞**

スライド８～２１を使って説明

４　プログラミング体験２　**＜４０分＞**

算数（５年）　「円と正多角形」

　　　「Scratch」（<https://scratch.mit.edu/>）

スライド２２～３９を使って、体験させる。

　　　　※教え合い学習を教員も体験できるとよい。

５　授業プラン4「円と正多角形」の展開方法　**＜５分＞**

　　スライド４０～　を使って説明（できれば、算数・総合②もふれる）

* 研修時間が１００分確保できない場合は、体験を一つにしたり、上記３や５の説明部分を省略したりするとよい。